

大学院案内

SHIZUOKA
INSTITUTE
OF
SCIENCE
AND
TECHNOLOGY
2021

静岡理工科大学

理工学研究科

【修士課程】

システム工学専攻 材料科学専攻

理工学研究科

【学位】修士(理工学 または 技術経営)

※履修科目や修士論文テーマにより、いずれかの学位が取得できます。



「技術経営(MOT)」は、技術を効率的に活用して企業経営に役立てようとする考え方で、従来の経営工学や経営理論に加え、経済的価値を創出するためのマネジメントに重点を置いたものです。理工学研究科では、戦術だけでなく「戦略」を描ける技術者を育成しています。

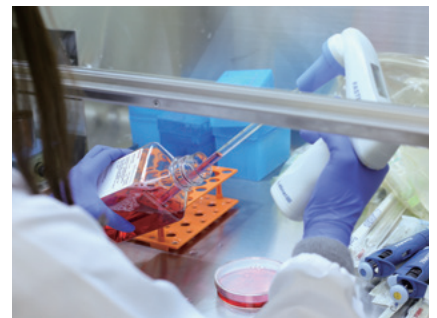
2年間のシステム工学専攻と材料科学専攻の大学院修士課程を設け、広い視野に立って精深な学識を持ち、高度な専門性を要する世界で新たな道の開拓者たる活躍をする高度専門技術者または研究者の育成を目指しています。

システム工学専攻



多様化・複雑化する社会において、科学・技術の発展と社会の関わりに関心を持つことの重要性は日々高まっています。総合的な技術と知識をさまざまな方面に応用するには、全体を俯瞰できる人材として学際的な理解も必要となります。本専攻には、各種機械・製品の開発設計のための先端的な振動・強度・流体・熱エネルギー制御技術、素材・加工プロセス技術の教育・研究指導を行う「機械工学的分野」、材料、デバイスおよびシステムに関する先端的な技術とその学術体系を支える数学・物理学の修得を含めた教育・研究指導を行う「電気電子工学的分野」、実務設計能力や設計監理・施工管理の高い資質を得るために、先端的な建築環境・設備、都市・建築計画、耐震構造、材料施工の実践的な教育・研究指導を行う「建築学分野」、人工知能や情報ネットワーク等に対する高度情報技術や情報システムの応用技術を教育・研究指導する「情報学分野」があります。本専攻では、これら各分野の基礎教育に重点を置くとともに、有機的な関連性を理解、応用できる総合的な技術者を育成することを目的としています。

材料科学専攻



科学・技術の進歩は、新素材の開発と素材の精密な評価ならびに各種装置への素材の利用による性能向上に支えられています。本専攻は、環境科学、材料科学、生命科学、食品科学等の分野とその隣接領域の知識を修得し、無機・有機、バイオ・フードマテリアル等における機能性分析技術および新素材開発技術について先端的な学術内容を修得します。要求される技術だけでなく洞察力と応用力を養う教育・研究指導を行います。これらの教育を有機的に関連づけることにより、地域社会や産業界における材料科学の関連する課題を俯瞰的に認識し、多様化・複雑化する社会をより良くする手段を創造できる科学者・技術者を育成することを目的としています。

研究施設 「少人数制の研究体制」が可能にする、研究施設・設備を学生が自由に使える環境

企業の研究所レベルの実験が可能

建築学科棟・構造実験棟・環境実験棟

建築学科棟「えんつりー」は、建築学科で学ぶ様々な領域を横断し、校舎そのものが「活きた教材」となるよう、各分野の技術が統合して出来上がる建築を体現しています。また、大規模な実験機器を使用して実物大のシミュレーションができる「構造実験棟」や照明、空調など環境分野の実験を様々な条件で実施できる「環境実験棟」など、研究・実験設備を効果的に完備し、高い研究活動を支えています。



建築学科棟



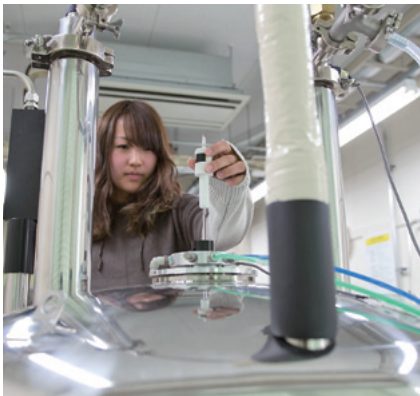
構造実験棟



環境実験棟

先端機器分析センター

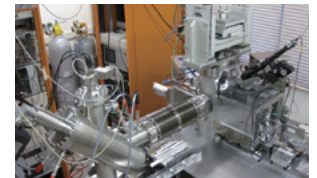
30台近くの高性能分析・測定装置を有し、教員の研究及びプロジェクト研究、学生実験、卒業研究、大学院生の研究など年間1,500件を超える研究・教育活動に利用されています。機器を専任の技術教職員が管理し、共通施設として運用することにより、学生が自由に使用できる環境を可能にしています。また、企業にも開放しており、本学と企業との連携の場にもなっています。



NMR (核磁気共鳴装置)



FTIR (フーリエ変換赤外分光光度計)



顕微メスバウア分光装置



EPMA (電子線マイクロアナライザ装置)



GCMS (ガスクロマトグラフ質量分析装置)

やらまいかエデュケーションサイト(Y.E.S.)

学内の研究や学外との共同研究の支援を目的とし、未来の移動体開発や情報伝達・エネルギー分野の研究を支援する「やらまいか創造工学センター」や、高性能、高精度な機械加工・測定を可能にする「工作センター」など、5つの工学系施設の集合体をやらまいかエデュケーションサイト(Y.E.S.)と呼びます。専任の技術職員による技術支援体制を整え、研究活動を支えています。



ロボット移動体実験室



エンジンテストベンチ室



工作センター

情報教育研究センター

全学の情報基盤環境の運用・保守・整備をするとともに、次世代のICT教育環境(スパコン・教育コンテンツ)の導入や全学的なデータサイエンス教育など、学内の教育・研究活動のサポートをおこなっています。



システム工学専攻

機械工学コース／電気電子工学コース／建築学コース／情報学コース

機械工学的分野、電気電子工学的分野、建築学分野、情報学分野の基礎に対する理解とシステム思考を含む実践力の向上に重点を置くとともに、広がりを持った専門性(総合力)を修得し、論理的・主体的に行動できる実践的な技術者を育成します。

■近年の修士論文テーマ

- ウイングレスエアロトレイン構想とその可能性に関する研究
- ボールを用いた減速機の内部に作用する力の動力学解析とトライボロジー的考察
- 航空機の安全と運航最適化のためのログデータ利活用の効果
- MIDS法による超多チャンネルシステムに向けた動電型乗算出力スピーカに関する研究
- EV用電源システムと自動運転のためのセンシング技術に関する研究
- ニューラルネットワークシステムを用いたQuad Tilt Wing 型垂直離着陸無人航空機のシステム同定とPIDゲインオートチューニングに関する研究
- 環境調和型超音波照射法によるBDFの合成
- 螺旋状水ジャケットを用いる位置決め装置の冷却
- 自律移動ロボットの行動生成システムと環境認識に関する研究
- パルス放電を利用した $Zn_2SiO_4:Mn^{2+}$ 蛍光体薄膜の研究

■研究室

機械工学コース

研究室名	テーマ	教授・准教授・講師名	学位
機械力学研究室	物体の衝突現象を科学し、利用と安全性の向上を目指す	感本 広文 教授	博士(工学)(豊橋技術科学大学)
伝熱工学研究室	熱をコントロールして、省エネルギー・新エネルギーの社会を創り出す	十朱 寧 教授	博士(学術)(三重大学)
先端加工研究室	放電現象を利用した超高精度加工技術、最先端表面処理技術を開発する	後藤 昭弘 教授	博士(工学)(東京大学)
宇宙航空工学研究室	より便利で安価な宇宙と空の輸送手段を静岡から生み出す	増田 和三 教授	修士(名古屋大学工学部航空工学) 修士(MIT Aero&Astro)
金属材料工学研究室	二律背反の性能を同時に有するようなこれまでにない新しい金属材料を開発する	藤原 弘 教授	博士(工学)(立命館大学)
材料強度学研究室	高強度化表面改質のメカニズムを究める	三林 雅彦 教授	博士(工学)(名古屋大学)
エア・モビリティ研究室	社会問題解決のために、「エア・モビリティ」実現を目指す	佐藤 彰 教授	博士(工学)(京都大学)
ヴィークル工学研究室	自動車パワートレイン技術を研究し、次世代ヴィークルの創造に挑む	野崎 孝志 教授	博士(工学)(岡山大学)
内燃機関工学研究室	エンジンの新技術を開発して、社会問題の解決に貢献する	野内 忠則 准教授	博士(工学)(茨城大学)
メカトロニクス研究室	「はかる」を基盤として社会の役に立つロボット、センサを創り出す	飛田 和輝 准教授	博士(工学)(電気通信大学)
環境流体工学研究室	実在する流体の現象と多様な質とをベースに、水環境の保全、持続可能な生物資源の具現化を目指す	牧野 育代 准教授	博士(工学)(京都大学)
ロボット工学研究室	ロボットが自ら行動するための知能と感覚を研ぎ澄ます	鹿内 佳人 講師	博士(工学)(宇都宮大学)

電気電子工学コース

研究室名	テーマ	教授・准教授・講師名	学位
センサ工学研究室	小さなセンサで健康社会へ大きく舵取り	村上 裕二 教授	博士(工学)(東京大学)
化合物半導体研究室	プラズマを使って半導体を作り、未来の太陽電池材料や量子コンピュータ材料を開発する	小澤 哲夫 教授	博士(工学)(静岡大学)
高電圧工学研究室	電力の安全・安定供給のために、電流を流さない物質の性能向上に挑む	石田 隆弘 教授	博士(工学)(豊橋技術科学大学)
機能性薄膜研究室	環境に優しい様々な機能を持つ薄膜の作製に挑む	土肥 稔 教授	博士(理学)(名古屋大学)
生活支援スマートシステム研究室	メカトロ技術を応用し日々の生活・移動を心地よくする	美馬 一博 教授	博士(工学)(電気通信大学)
システムコントロール研究室	人や環境にやさしい高効率・低振動なモータ制御法の確立を目指す	服部 知美 准教授	博士(工学)(三重大学)
駆動力情報システム研究室	人間の心と体に感じるアナログ回路で世界を変える	山本 健司 准教授	博士(工学)(電気通信大学)
知能情報システム研究室	人間の行動や嗜好を理解する、気の利いた情報システムを実現する	加藤 文和 准教授	博士(工学)(岡山大学)
電力変換装置研究室	低炭素社会の実現に向けて、電力・エネルギーを自在に制御する	中田 篤史 准教授	博士(工学)(愛知工業大学)
生体情報計測研究室	負担のない新たな生体計測技術の開発で、日々の健康・安心を支援したい	本井 幸介 准教授	博士(工学)(金沢大学)
音響研究室	まるでその空間にいるような"音場"を再現する新しい録音・再生技術を創る	武岡 成人 准教授	博士(国際情報通信学)(早稲田大学)
環境エネルギーイノベーション研究室	エネルギー・資源・環境問題を解決するための高性能電池・蓄電池開発に挑む	東城 友都 講師	博士(工学)(信州大学)

建築学コース

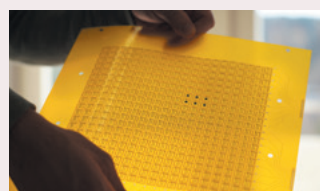
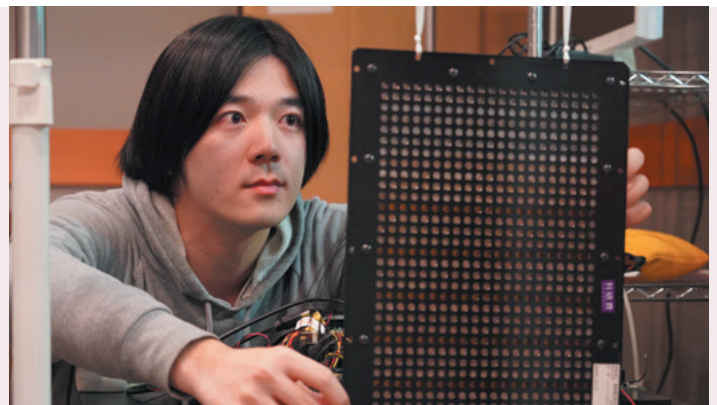
研究室名	テーマ	教授・准教授・講師名	学位
耐震構造研究室	世の中から建物地震被害を無くすために一被害低減のための設計法整備の推進	丸田 誠 教授	博士(工学)(千葉大学)
建築計画・デザイン研究室	建築スケールから都市スケールまで、計画から運用まで、LabとDesignを循環させる	脇坂 圭一 教授	博士(工学)(東北大学)
建築・都市設計研究室	建築のシンギュラリティ(特異点)をめざして	佐藤 健司 教授	修士(工学)(東京大学)
材料・施工研究室	材料と造り方から考える鉄筋コンクリートの新たな「かたち」	太田 達見 教授	博士(工学)(宇都宮大学)
建築意匠研究室	変容していく都市の中で時間／空間／人をつなぐ建築の在り様を創る	長尾 亜子 准教授	芸術学士(多摩美術大学)
建築環境(温熱)研究室	建築物の内外から考える、「季節」と「人」と「居住環境」	石川 春乃 准教授	修士(工学)(早稲田大学)
設計・意匠(デザイン)研究室	建築を考える事は未来を考える事。空間を作る事は身体から社会まで貫いて創造する事	田井 幹夫 准教授	学士(工学)(横浜国立大学)
防災構造工学研究室	地震災害から学び、地震災害軽減に貢献するための実験的・解析的研究を行う	崔 琥 准教授	博士(工学)(東京大学)
建築環境(設備)研究室	居室の安全・快適と、省エネルギーのベストバランス	鍋島 佑基 講師	博士(工学)(北海道大学)

情報学コース

研究室名	テーマ	教授・准教授・講師名	学位
計算機科学研究室	情報数理を深く知ることで、論理の能力は飛躍的に向上する	國持 良行 教授	Ph.D.(University of Debrecen) 修士(工学)(静岡大学)
高性能計算研究室	高い精度の計算を低コストで高速に実行する	幸谷 智紀 教授	博士(理学)(日本大学)
知能インタラクション研究室	人間と人間らしい会話ができるコンピュータを目指して技術開発に挑む	金久保 正明 教授	博士(工学)(慶應義塾大学)
データイノベーション研究室	ビッグデータから新たな知見を発見し、イノベーションへ繋げる	水野 信也 教授	博士(工学)(静岡大学)
情報・物理セキュリティ研究室	コンピュータと通信を安全に安心して利用できる世界を実現する	大石 和臣 准教授	博士(工学)(横浜国立大学) M.S.in Computer Science(University of California at Santa Barbara)
情報メディア設計研究室	多様な情報技術をつなぎ合わせ、新たなメディアを設計する	定國 伸吾 准教授	博士(情報科学)(名古屋大学)
視覚色彩工学研究室	人間の五感による知覚・認知・感性的な評価から、人間中心設計なモノづくりを目指す	櫻井 将人 准教授	博士(工学)(宇都宮大学)
適応システム研究室	人間のように柔軟に、環境に適応できる人工知能を作りたい	高野 敏明 准教授	博士(工学)(三重大学)
自然言語処理研究室	「ことば」を扱うコンピュータで、勉強・仕事・生活をもっと便利にする	江原 遥 講師	博士(情報理工学)(東京大学)
サービス情報学研究室	世の中の潜在的な不便を解決し、人の意思決定を助ける	山岸 祐己 講師	博士(学術)(静岡県立大学)
神経行動学研究室	脳科学は知の総力戦。脳の理解は人間の理解に繋がる	奥村 哲 教授	博士(理学)(総合研究大学院大学) 歯科医師(東京医科歯科大学卒)
社会意識論研究室	人はなぜそう思うのか?社会環境の中で作られる「頭と心」を解明する	秋山 憲治 教授	博士(人間科学)(早稲田大学) 文学修士(早稲田大学)
遺伝情報／人工生命研究室	コンピュータやロボットは、どこまで生命になりえるか? そのとき人間は…	大相 弘順 教授	博士(理学)(東北大学)
スポーツ科学研究室	子供達の健全な発育発達、競技力の向上、中高年者の健康づくりを科学する	富田 寿人 教授	修士(体育学)(順天堂大学)
言語学研究室	言葉の構造から、人間の認知能力を解明する	友次 克子 教授	文学修士(同志社大学)
メディア情報研究室	マスコミの報道は問題だらけ?メディアリテラシーの力で正しい未来を見通す	小栗 勝也 教授	法学修士(慶應義塾大学)
マネジメント・メソッド研究室	不可欠と判断されるマネジメントツールの使い方を身につける	林 章浩 教授	博士(システムズ・マネジメント)(筑波大学) 博士(ソフトウェア工学)(南山大学)
心理学研究室	社会に潤いと安らぎをもたらす心理学的研究を目指して	本多 明生 准教授	博士(文学)(東北大学)
応用言語学研究室	「ことば」は、どのように学ばれ、教えられ、使われるのか?	谷口 ジョイ 准教授	博士(学術)(東京大学)
藝術工学研究室	「人・社会・情報」のビジュアルコミュニケーションを創造する	松田 崇 講師	準学士
応用認知行動科学研究室	日常・現実場面における、ヒトの認知や行動のメカニズムを理解する	紀ノ定 保礼 講師	博士(人間科学)(大阪大学)

MIDS法による 超多チャンネルシステムに向けた 動電型乗算出力スピーカに関する研究

公立大学の文系学科に通っていましたが音響に興味を湧き、中退して本学で音響を研究する道へ。ソフトウェアだけでなくハードウェアも研究している武岡研究室に入ることが目的でした。少人数の研究室は先生や先輩との関係が密接で教え合う雰囲気は私の力を伸ばしてくれ、研究を継続して行うために大学院へ進学しました。研究のテーマは主に超多チャンネルのスピーカに関する事で、これが実現できると部屋全体を包み込むような立体的な音場を作ることができ、音響に関する新たな可能性が広がります。研究環境も充実しており、研究に没頭できた内容の濃い学部・大学院生活だったと実感しています。就職は自動車のナビゲーションシステムなどを製造しているアルパイン株式会社から内定をいただくことができました。やる気次第で自由に研究させてもらえる、自主性を重んずる静岡理工科大学の学風と環境に大いに助けられたと感じています。(2020年3月取材)



システム工学専攻
音響研究室 出身
菌部 健さん
アルパイン株式会社 就職

材料科学専攻

環境新素材分野とバイオ食品化学分野の基礎に対する理解と実践力の向上に重点を置き、材料科学の基礎から応用に至る総合的な理解を持ち、論理的・主体的に行動できる実践的な科学者・技術者を育成します。

■ 近年の修士論文テーマ

- 脱酸素的フッ素化剤を用いた新しい有機合成反応の開発
- カチオン性高分子の構造制御と抗菌性の発揮に関する研究
- ベンゾオキサポロール基を介したポリビニルアルコール系材料の簡便な機能化に関する研究
- ThMn12型構造磁石超急冷粉体の熱処理条件最適化による高磁気特性発現機構の解析
- 次亜塩素酸ナトリウム五水和物を活用した炭素-炭素結合切断反応の開発
- シクロプロピルメタノール類ならびにシクロプロピルカルバルデヒド類の環開裂フッ素化反応およびその関連反応
- 次亜塩素酸ナトリウム五水和物を活用した有機合成反応
- 次亜塩素酸ナトリウム五水和物を用いる含フッ素アルコール類の酸化反応
- 畑土壌での*N*-アセチルグルコサミニダーゼの機能の解明
- キチン添加畑土壌での*Lysobacter*属細菌の増加とその要因の解析

■ 研究室

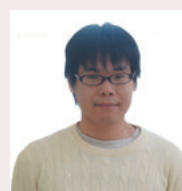
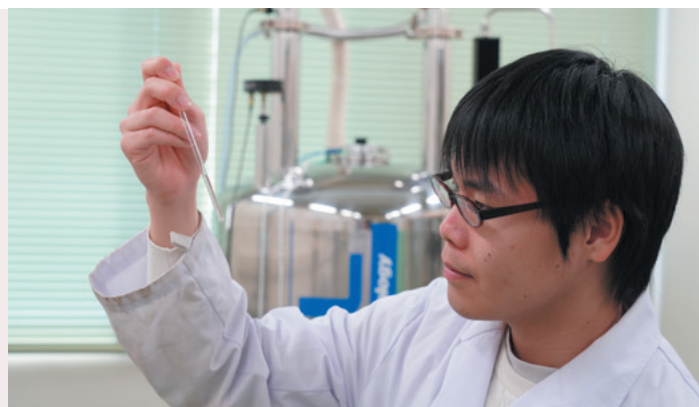
研究室名	テーマ	教授・准教授・講師名	学位
量子化学研究室	量子化学計算により、分子集合体の性質や新物質としての可能性を探る	関山 秀雄 教授	博士(理学)(東京大学)
有機化学・医薬品化学研究室	環境に優しい合成化学を開発し、新しい医薬品合成法を創出する	桐原 正之 教授	薬学博士(大阪大学)
X線構造物性研究室	X線回折・吸収を利用した物質の構造解析から、物性発現機構の解明へ	笠谷 祐史 教授	理学博士(広島大学)
界面物理化学研究室	環境問題を解決するために、ナノ材料を科学する	山崎 誠志 教授	博士(工学)(豊橋技術科学大学)
応用微生物学研究室	有名無名な微生物の能力発揮の仕組みを解き明かし、微生物利用技術の開発基盤を築く	齋藤 明広 教授	博士(農学)(筑波大学)
食品安全学研究室	食品の腐敗と発酵の境界領域に関わる微生物の働きを解明し、食の安全・保蔵に資する	宮地 竜郎 教授	博士(農学)(千葉大学)
非平衡界面化学研究室	生命体に似た自発運動や味覚センシングを創り出す	南齋 勉 准教授	博士(工学)(大阪府立大学)
食品機能化学研究室	生体成分の未知なる機能を明らかにし、生物の謎を解き明かす	吉川 尚子 准教授	博士(農学)(東京大学)
機能性高分子研究室	機能性高分子を創製し、病気の診断と治療を行う	小土橋 陽平 准教授	博士(工学)(鹿児島大学)
ストレス反応制御研究室	生体ストレスのメカニズム解明を目指し、病気の予防に繋げる	高部 稚子 准教授	博士(工学)(東京大学)
天然物化学研究室	天然物資源の有効活用を目指して、遠州の生物資源から役に立つ化合物を探す	鎌田 昂 講師	Ph.D. (Advancement of Biodiversity)

新しい結合切断反応の開発研究

有機化合物の炭素-酸素結合や炭素-炭素結合を切断して、有用な分子に変換する研究を行いました。従来ではこれらの結合を切断するには有毒な鉛化合物や高価な試薬が必要でした。これを家庭でも漂白剤などで使われている次亜塩素酸ナトリウムを用いて結合切断反応が行えることを発見し、さらなる有用性を見出すために引き続き研究をしています。

研究室は先生との距離も近いので、相談や指導も受けられやすく、少人数であるため、議論をしたり、自分には無い発想をアドバイスし合えるなどの良さがあります。また、先端機器分析センターにある測定機材は、他大学院にも勝るものが揃っており、かつ使いたい時に使用しやすい環境は、研究を進めていく上で恵まれていると感じています。

大学院で好きな研究を続けられたおかげで、卒業後はコニカミノルタケミカル株式会社に技術者として内定をいただき、社会をより良くする研究を継続していきます。(2020年3月取材)



材料科学専攻
有機化学・医薬品化学
研究室 出身
齋藤 克哉 さん
コニカミノルタケミカル
株式会社 就職

一般入試概要

1 募集人員

専攻	募集人員
システム工学専攻	15名
材料科学専攻	10名

2 出願資格

下記の要件のいずれかに該当する者。

- (1) 大学を卒業した者及び卒業見込みの者。
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者。
- (3) 文部科学大臣の指定した者。
- (4) その他本大学院において、大学を卒業した者と同等の学力があると認められた者。

鈴与高度ICT技術者育成奨学生一般入試のみ

上記(1)～(4)のいずれかの要件に該当し、情報学・ICT関連を研究対象とする者。

3 日程

入試種別	出願期間	試験日
一般1次入試 鈴与高度ICT技術者育成奨学生一般入試	2020年7月1日(水)～7月28日(火)	8月28日(金)
一般2次入試	2021年1月20日(水)～2月4日(木)	2月26日(金)

4 選考方法

学力試験・面接試験(個人面接)・提出書類を総合して選考します。

■試験科目および配点

試験科目	教科	区分(必須・選択)	配点
外国語	英語	必須	100点
専門	【数 学】線形代数 / 微分・積分(微分方程式を含む) 【機械系】力学(基礎力学・材料力学・機械力学) / 熱力学・流体力学 / 制御・計測 / 材料・加工 【電子系】電磁気学 / 電気回路学 / 電子回路学 / 半導体工学 【建築系】建築意匠 / 建築構造・材料 / 建築環境・設備 【情報系】情報数学(代数系、論理数学、確率・統計) / 計算機プログラミング / 計算機アーキテクチャ / 経営情報学 / 心理学 / 人文・社会情報学 【生命系】生体情報処理 / 遺伝情報学 / 生命科学 【物質系】化学熱力学 / 量子力学 / 無機・分析化学 / 有機化学 / 食品化学 / 微生物学	左記の28科目から出願時に3科目選択(ただし、数学からの選択は1科目を限度とする)	各100点 計300点
面接	個人面接(20分程度)	必須	100点

5 学 費

本学出身者

納付金の種類	前 期	後 期
入学金	免除	—
授業料	300,000円	300,000円
計	300,000円	300,000円

他大学出身者

納付金の種類	前 期	後 期
入学金	150,000円	—
授業料	300,000円	300,000円
計	450,000円	300,000円

※上記金額は2020年度のものであり、翌年度以降納付金は改定することがあります。 ※2年次の納付金は、1年次の納付金(入学金を除く)と同額となります。

大学院 鈴与高度ICT技術者育成奨学生一般入試

1. 鈴与高度ICT技術者育成奨学生制度の趣旨

ICT(情報通信技術)は急速に高度化・多様化しており、これに対応した専門的な知識及び技能を有する人材の充実が求められています。このような社会的な要請を踏まえて、鈴与グループの企業による奨学生を募り、ITを活用し高い付加価値を創造できる高度情報通信技術者人材を静岡理工科大学大学院で育成します。

2. 募集人員

授業料50万円給費奨学生1名とします。

3. 特典

授業料50万円給費奨学生として採用された者に対し、年間50万円を入学後最大2年間給付(半年毎に25万円) ※学年末に更新審査有

奨学生として採用された場合の学費

本学出身者

納付金の種類	前 期	後 期
入学金	免除	—
授業料	50,000円	50,000円
計	50,000円	50,000円

他大学出身者

納付金の種類	前 期	後 期
入学金	150,000円	—
授業料	50,000円	50,000円
計	200,000円	50,000円

※出願者の選考結果が不合格の場合、一般入試の選考基準で判定をし基準を満たす場合は、一般入試合格者となります。

[主な就職先] (過去3年間)

2020年3月卒 | 就職率100%

ASTI株式会社 / アルパイン株式会社 / ウシオケミックス株式会社 / NSKワーナー株式会社 / 株式会社小野測器 / コニカミノルタケミカル株式会社 / スズキ株式会社 / 浙江省能源集团有限公司 / ダイドー電子株式会社 / 大日本塗料株式会社 / 株式会社タウンス / 高砂フードプロダクツ株式会社 / 株式会社デイス / テイボー株式会社 / トヨタ自動車株式会社 / 一般財団法人日本食品検査 / 株式会社日本設計工業 / 日本電産株式会社 / フェイスラボ株式会社 / 福寿製薬株式会社 / 本多金属工業株式会社 / ミネベアミツミ株式会社 / 株式会社ユニバンス / ローム浜松株式会社 / 株式会社ワールドインテック ほか

[進学先] 华中科技大学大学院博士課程 / 静岡大学創造科学技術大学院博士課程 / 徳島大学大学院博士課程 / 三重大学大学院博士課程 / 宮城大学大学院博士課程

大学院 授業科目年次配当表

システム工学専攻

区分	コース	分野	授業科目の名称	
専攻講義科目	機械工学コース	共通	機械金属材料学	
			精密・超精密加工学	
			機械動力学	
			材料強度学	
			流体力学詳論	
			エネルギー変換工学	
			システム制御	
			トライボロジー	
			航空	航空宇宙システム工学I
		航空宇宙システム工学II		
		自動車	自動車開発工学	
		メカトロニクス	メカトロニクスシステム	
		電気電子工学コース	電力・エネルギー	回路システム
	電力エネルギー工学			
	光応用・電子デバイス		エネルギー変換応用工学	
			電子デバイス	
	情報・通信		パワー半導体プロセス	
			IoTシステム工学	
	制御・システム		信号処理工学	
			制御工学	
	システム工学科目群		共通	電子機械制御工学
				データマイニング論
		経営システム設計		
		コンピュータシステム	数理科学	
			データサイエンス論	
			ネットワークシステム論	
			計算機アーキテクチャ論	
			最適化論	
			コンピュータグラフィックス	
			情報セキュリティ論	
			人工知能論	
		人間・社会	コミュニケーション論	
			社会情報学	
			人間組織論	
			生命工学	
			脳と行動	
		建築学コース	共通	感覚と認識
				建築学総論
				建築材料論
	実践建築論			
	建築インターンシップI			
	意匠		建築インターンシップII	
建築インターンシップIII				
建築情報論				
計画デザイン論				
構造・材料	建築意匠論			
	建築空間論			
	設計製図I			
設備・環境	設計製図II			
	耐震設計論			
建築学研究科目	建築振動論			
	建築生産論			
	地域建築環境論			
	建築設備計画			
	建築学研究I			
建築学研究II				
建築学研究III				
建築学研究IV				

材料科学専攻

区分	授業科目の名称
専攻講義科目	有機反応化学
	コロイド・界面化学
	機能性材料
	固体物理化学
	量子材料化学
	材料科学特論
	構造物性
	高分子科学
	天然物化学
	微生物生態生理学
	遺伝子工学特論
	脳と行動
	生命工学
	食品安全科学工学
食品機能学	

共通講義科目

総合科目群・・・アカデミック・ライティング、環境学、理工学特別講義
経営系科目群・・・安全性設計論、経営戦略論

各専攻の演習科目として「理工学演習1～4」、
研究科目として「理工学研究1～4」があります。

ACCESS



JR東海道本線「愛野駅」より、無料シャトルバス5分

[車でのアクセス]

- 東名高速「袋井IC」から 約15分
- 東名高速「掛川IC」から 約15分
- 新東名高速「森・掛川IC」から 約25分

[新幹線を利用した場合]

- 静岡駅～愛野駅 約30分
- 豊橋駅～愛野駅 約40分
- 名古屋駅～愛野駅 約60分
- 東京駅～愛野駅 約110分

公式ホームページ

<https://www.sist.ac.jp/>



静岡理科大学

〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2 TEL:0538-45-0111(代)